

歯科口腔外科【Stage2】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

当科は口腔腫瘍、口唇口蓋裂、顎変形症、顎顔面外傷などの治療を行っている。これらの疾患についての知識は、医学部学生が将来医師として働く際に有用である。Stage2 では入院手術症例を中心に、これらの疾患についての知識を深めることを目標とする。さらに全身の健康管理に関連した口腔衛生管理や口腔機能の重要性を学習する。

一般目標：

2週間にわたって歯科口腔外科入院患者の診療・治療を、歯科医師とともに体験する。

- (1) 口腔疾患の基本的な診察法を説明する。
- (2) 手術を通じて口腔の解剖を理解する。
- (3) 基本的な口腔領域の手術手技を理解する。
- (4) 口腔衛生管理の重要性を説明する。
- (5) 他職種の医療現場を体験し連携する手段を理解する。

到達目標（行動目標）：

- (1) 医療チームの一員であることを認識し、互いの人格を尊重して診療にあたる。
- (2) 礼儀正しく患者や患者の家族に接することができる。
- (3) 口腔疾患の基本的な診察を実践する。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

- (1) 担当患者入院から手術、退院までの一連の治療を経験する。
- (2) 病棟処置および全身麻酔手術に参加し、口腔疾患について診察法・治療法、解剖を理解する。
- (3) 担当患者の経過・症例レポートを提出する。
- (4) 手術見学後に手術記録を作成し提出する。

3. 実習上の注意事項

- (1) 実習に関係する事項について、指定図書を中心に学習する。
- (2) 診療室内・手術室での私語は慎むこと。
- (3) 集合時間厳守のこと。
- (4) 診療室での飲食は行わないこと。
- (5) 外来には最低限の資料のみ持ち込むこと。
- (6) 実習中に許可なく実習場所を離れないこと。

4. 臨床実習において許容される基本的医行為の例示

(1) レベルⅠ：指導医の指導の下で実施されるべき

- 診療の基本 症例プレゼンテーション
- 診察手技 医療面接、口腔と顔面の診察
- 一般手技 体位交換、患者移送、口腔消毒
- 外科手技 局所麻酔手術の介助、全身麻酔手術の介助
清潔操作、手洗い、ガウンテクニック

(2) レベルⅡ：指導医の実施の介助の下での実践が推奨される

- 一般手技 消毒・ガーゼ交換
- 外科手技 縫合、抜糸

5. 実習スケジュール

第1週目・2週目

曜日	担当教員	午前	午後
月	河野辰行 阿部史佳 栗林佳奈 前城 学	オリエンテーション 病棟実習・外来見学	カンファレンス
火		病棟実習	外来実習
水		手術介助または見学	手術介助または見学
木		病棟実習・外来見学	外来実習
金		手術介助または見学	手術介助または見学

集合時間・場所・・・月火木 午前8時30分 5階新病棟 歯科口腔外科処置室
水 金 午前9時00分 手術室

- ・ 配属期間に入院する患者を担当する。
- ・ 入院時診察、病棟処置、手術見学と介助を担当教員とともに行う。
- ・ 入院患者の処置がない時は、外来にて周術期患者の診察・口腔ケアを見学する。

作成者名：河野辰行